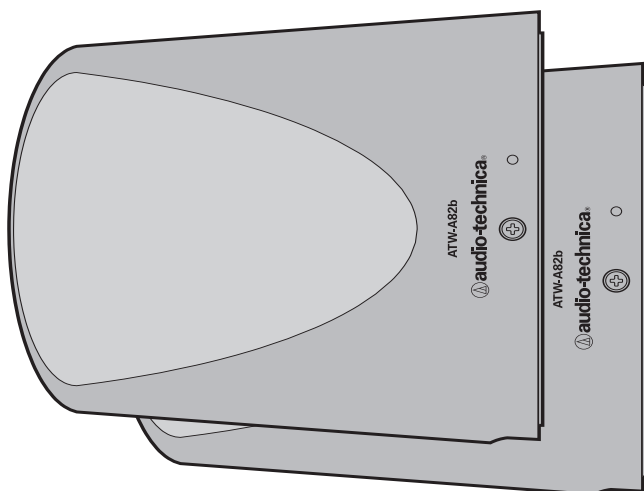
取扱説明書

audio-technica

800MHz 帯 B 型

アクティブインテリアアンテナ (2 個 1 組)

ATW-A82b

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの説明書を必ずお読みください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保存しておいてください。

本製品は壁面に取り付け、微弱な電波をより効果的にキャッチするブースター内蔵型の屋内用アンテナです。組み合わせるレシーバーの取扱説明書も必ずお読みになってご使用ください。

目次

特 長

- ブースターアンプ内蔵で、同軸ケーブルの引き回しによる挿入損失を改善
- 使用条件に合わせてブースターゲイン（Hi、Lo）の切り換えが可能
- 結婚式場、宴会場、会議場などのインテリアに調和したデザイン
- B 型 (806 〜 810MHz) 専用の通過フィルターを搭載したアンテナにリニューアル

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。
事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

⚠警告　この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。	⚠注意　この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

⚠警告

●異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。

●分解や改造はしない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。

●強い衝撃を与えない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。

●濡れた手で触れない
感電によるけがの恐れがあります。

●水をかけない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。

●本製品に異物 (燃えやすい物、金属、液体など) を入れない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。

●布などで覆わない
過熱による火災など事故の原因になります。

●同梱のポリ袋は火のそばに置かない
火災の原因になります。

⚠注意

●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
故障、不具合の原因になります。

●火気に近づけない
変形、故障の原因になります。

●ベンジン、シンナー、接点復活保護剤など薬品は使用しない
変形、故障の原因になります。

使用上の注意

●ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
●ケーブルの抜き差しは、接続機器の電源を切ってから行ってください。
●テレビやラジオのアンテナ付近で使用すると、テレビやラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。

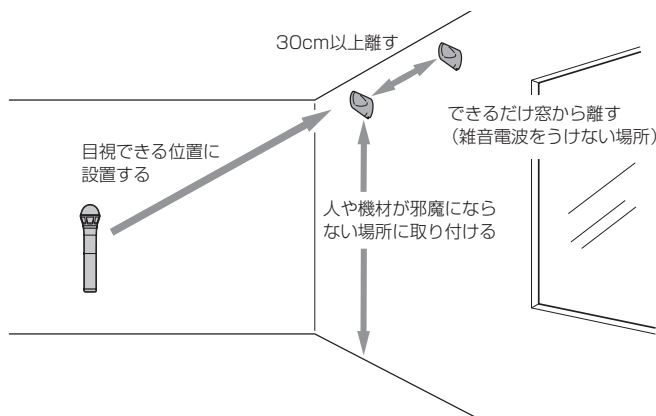
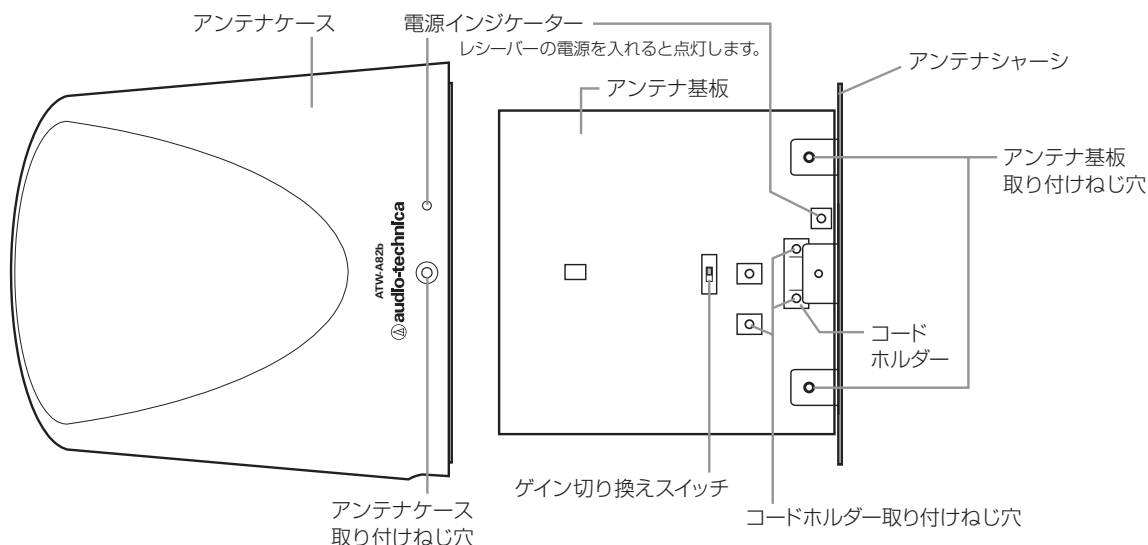
設置上の注意

●アンテナは 2 個 1 組として設置を行ってください。
ワイヤレスマイクロホンを使用する場所から目視できる場所に取り付けてください。内装材の裏側などには取り付けないでください。

●設置場所の強度不足、設置不備による落下などの事故に対する責任は、当社は一切負いません。

●人や機材の移動時にアンテナが破損しない場所に取り付けてください。

●自動車、照明用調光器、蛍光灯、大型モーター、パソコンなどの OA 機器、デジタル回路を使用した楽器は、電波ノイズを発生する場合がありますので、それらの機器から影響を受けないような場所に取り付けてください。

●ダイバーシティ受信の効果を発揮するように、アンテナの間隔を 30cm 以上離して設置してください。

各部の名称と機能

設置について

ケーブルの選択

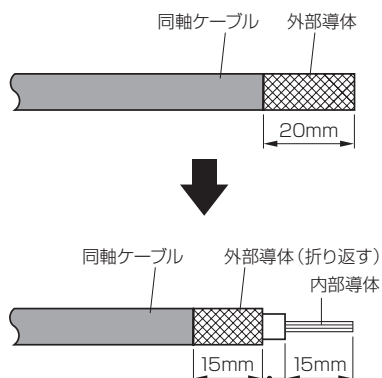
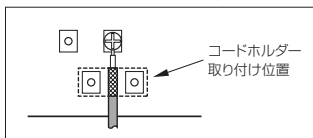
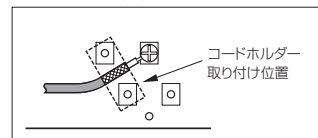
アンテナとレシーバーとの接続には 50 Ω、3D-2V 以上の同軸ケーブルをご使用ください。
ケーブルの長さに応じ、下記の表を参考にケーブルの種類を選択してください。
※低損失形 5D-FB の使用をおすすめします。なお低損失形ケーブルには専用の BNC コネクターが必要です。

ゲインの切り換え

ブースターゲイン切り換えスイッチの設定は、表を参考に適正なゲインを選択してください。

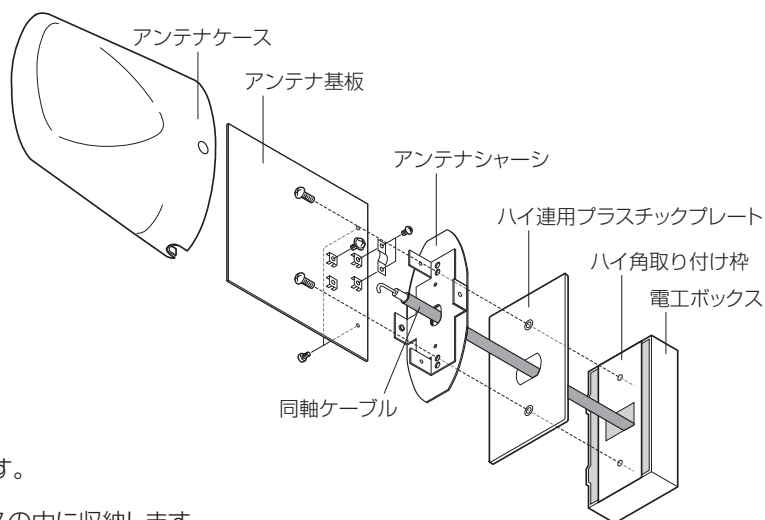
GAIN ADJUST	3D−2V	5D−2V	5D−FB
Hi（＋12dB）	ケーブル長 10~24m	ケーブル長 20~45m	ケーブル長 25~55m
Lo（＋6dB）	ケーブル長 10m未満	ケーブル長 20m未満	ケーブル長 25m未満

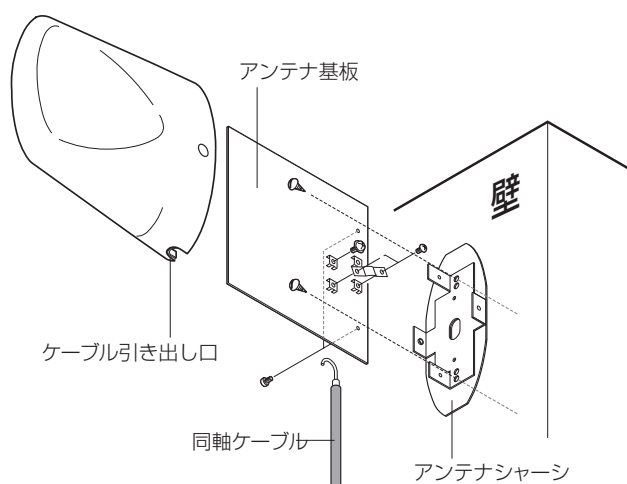
ケーブル端末処理

1 同軸ケーブルの端末を次のように加工します。接触不良を防止するため正確に加工してください。

2 下記のようにアンテナ基板に接続します。

同軸ケーブルの内部導体をねじでおさえ、コードホルダーが外部導体をしっかり挟むように固定させます。

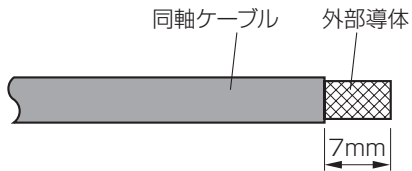
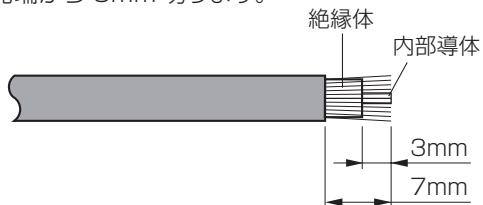
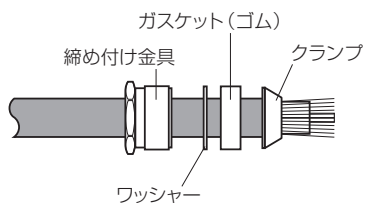
3 レシーバーの電源を入れ、本製品の電源インジケーターが点灯することを確認します。ゲイン切り換えスイッチが Hi の時は赤、Lo の時は緑が点灯します。

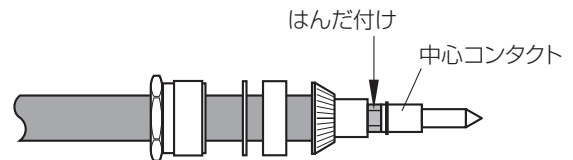
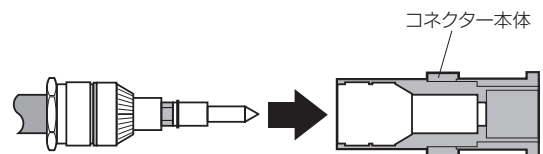
設置について

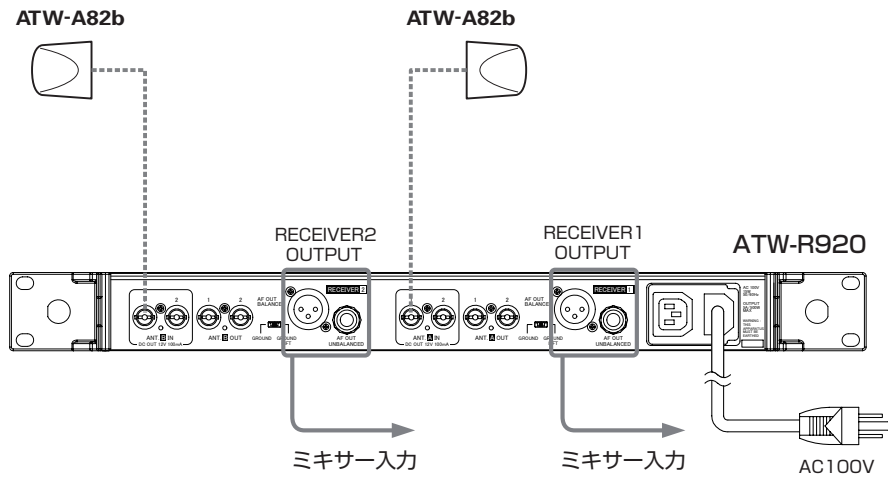
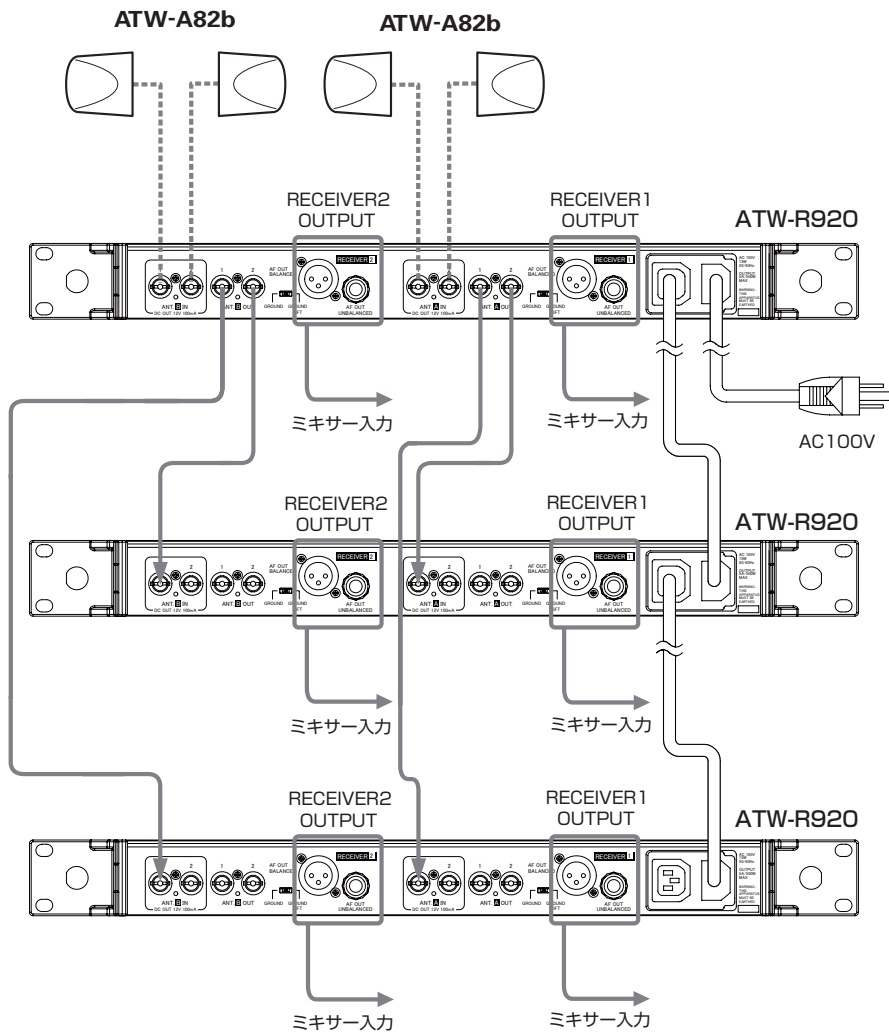
電工ボックスを利用して壁に取り付ける場合

1. アンテナを分解します。
2. 同軸ケーブル先端を加工します。
3. 余分なケーブルを電工ボックスの中に収納します。
   アンテナシャーシ取り付け面からケーブル先端の距離が約 40mm になるようにしてください。
4. 同軸ケーブルを市販のハイ角取り付け枠、ハイ連用プラスチックプレート、アンテナシャーシに通し、それぞれを電工ボックスにねじ止めします。ハイ連用プラスチックプレート、アンテナシャーシの取り付けには、付属の M3.5 ねじをご利用ください。
5. アンテナ基板をアンテナシャーシに取り付け、同軸ケーブル先端の位置にしっかり固定してください。
6. ゲインを切り換えます。（P3 「ゲインの切り換え」を参照）
7. アンテナケースをアンテナシャーシにはめ込み、アンテナケース取り付けねじで締め付けます。

壁にケーブルを沿わせて取り付ける場合

1. アンテナを分解します。
2. 同軸ケーブル先端を加工します。
3. アンテナシャーシを付属の木ねじで壁に取り付けます。
4. アンテナ基板をアンテナシャーシに取り付け、同軸ケーブル先端をしっかり固定してください。
   （P3 「ケーブル端末の処理」を参照）
5. ゲインを切り換えます。（P3 「ゲインの切り換え」を参照）
6. アンテナケースをアンテナシャーシにはめ込み、アンテナケース取り付けねじで締め付けます。

BNC コネクターの加工

1　同軸ケーブルの先端を図のように加工します。接触不良を防止するため、正確に加工してください。

2　同軸ケーブルの外部導体編組を外し、絶縁体を先端から 3mm 切ります。

3　締め付け金具、ワッシャー、ガスケット、クランプの順に同軸ケーブルに通します。

4　外部導体編組を下図のようにクランプの方へ均等に折り返し、先端を切りそろえます。
次に、内部導体を中心コンタクトに差し込み、はんだ付けをします。

※ 絶縁体のポリエチレンを変形させないように注意してください。

5　同軸ケーブルの加工終了後、コネクターに差し込みます。中心コンタクトとコネクターに隙間がないことや、食い込んだりしていないことを確認してから、締め付け金具で固定してください。

※ BNC コネクターにより加工方法が異なります。

接続方法例 1 （基本接続：ATW-R920)

接続方法例 2 （カスケード接続 ）

テクニカルデータ

型式	： λ/2 ダイポールアンテナ（ブースター内蔵）
利得	： 12dB(Hi、レッド)、6dB(Lo、グリーン)　＊工場出荷時は Hi に設定
出力インピーダンス	： 50Ω
定格電源	： DC12V　20mA （同軸ケーブルにより受信機またはアンテナ・ディストリビューターから供給）
受信周波数	： 806MHz～810MHz
外形寸法	： W65×H143×D150mm
質量	： 約 320g
付属品	： 木ねじ×4、M3.5 ねじ×4